

事務事業名		雲南市さくらの会補助事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	観光振興グループ	課長名	落合 正成
	施策名	(10)自然と地域環境の保全		担当者名	渡部 喬	電話番号	0854-40-1054
	目的:対象	市民	意図	自然環境、景観を守る意識を高め、地球環境に配慮した生活をおくるとともに創造する。		(内線)	2432
	基本事業名	(032)自然環境と景観の創造		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光振興総務管理事業	
目的:対象	市民	意図	自然環境と景観を守り創造する。		項 目 中事業 中事業名	さくらの会交付金	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
雲南市が行う日本一のさくらのまちづくり事業を支援し、さくらの保育管理事業や植栽事業を実施する雲南市さくらの会に補助金を交付する。また、雲南市さくらの会事務局業務は産業観光部観光振興課で実施している。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 下記雲南市さくらの会事業への支援。 ア さくら保育管理、植栽、苗木育成事業 イ 技術指導事業、PR事業 ウ 総会、理事会、記念事業の開催 など	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 雲南市さくらの会が行うさくらの手入れ保全事業への支援。(雲南市さくらの会はH29 年度より日本花の会雲南支部として活動を開始予定である。日本花の会支部となれば、市内の桜どころに対し、日本花の会所属樹木医の派遣を受けることができる。)				
② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	さくらの会会員数	人	739	746	795	810
イ	研修会等の回数	回	3	4	2	2
ウ	桜植栽本数(延べ本数)	本	109,097	109,100	109,115	109,115
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	雲南市の景観(日本一のさくらのまちづくり)		ア	桜植栽本数(延べ本数)	本	109,097	109,100	109,115	109,115
			イ	さくらの会会員数	人	739	746	795	810
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
雲南市の花である「桜」の住民参加型保育育成活動により美しい景観を守り、創造する。		ア	桜植栽本数(延べ本数)	本	109,097	109,100	109,115	109,115	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
さくらの会決算 11,516千円(雪害により例年より約800千円の事業費増)		事業費内訳	国庫支出金	千円				
※財源は雲南市木次さくらのまちづくり基金			県支出金	千円				
雲南市さくらの会補助金 10,600千円			地方債	千円				
			その他	千円	10,000	10,000	10,600	11,800
			一般財源	千円				
			事業費計(A)	千円	10,000	10,000	10,600	11,800
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	1,200	725	725			
	人件費計(B)	千円	4,666	2,838	2,876			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,666	12,838	13,476			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
「雲南市さくらの会」発足により事業範囲が全市での取り組みとなっているが、現状では会員の多数が木次町の住民である。しかしながら、H25年度以降市外及び県外からの入会が増えつつある。市内でのさらなる会員数の拡大に向けた取り組みが必要とされる。	雲南市さくらの会会員拡大に努めており、自主財源の増加に繋がっている。	雲南市さくらの会補助金は旧木次町からの3億円の特定目的基金が原資であるため将来的な基金維持について関心が高い。木次町以外からの入会も増えつつあるが、総会などの出席者は依然として木次町の会員が多く、他地域から出席した会員からは閉鎖的だとの声も聞かれる。また、さくら守が1名欠員の状況が続いており、解消が急がれる。

事務事業名	雲南市さくらの会補助事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 ⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 ⇒	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 ⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 専門的な管理内容について、「斐伊川堤防桜並木」の実施例を市内に拡大していけば、成果の向上が図れる。また、会員数が増加すれば、会費収入が増加し会の活動が活発化する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 年間を通じた桜保全管理事業により雲南市桜まつりが観光事業の中では最も集客力のあるイベントとなっており、この補助事業を廃止・休止した場合、その影響は計り知れないものがある。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 ⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 他に類似事業がないため、統廃合・連携等は難しい。	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現状では、事業費の大部分を占める専門的管理は、桜守や専門事業者への管理委託による通年管理が不可欠であり、事業費削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 会の事務局をNPO法人等に委託すれば人件費の削減が図れるが、当面は、市で事務局を持たなければならないと思われる。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 会の補助金は、旧木次町で造成された特目基金が原資である。したがって、管理事業費の投入は木次中心となり、他地域からは不満感がある。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	雲南市のまちづくりのシンボルとして「さくら保育管理事業」は必要不可欠であるが、財源や会員数の確保・拡大等において課題が多く、今後の進め方について検討が必要である。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
雲南市全域の桜の保育活動・植樹活動を広めるため、最小限の費用で最大の効果をもたらす管理方法等の研究、市内桜管理団体への管理指導機会を増やす。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							